２０１７年度日本木材学会中部支部大会（福井）実績報告

福井県総合グリーンセンター 林業試験部 野村 崇、齋藤 年央

2017年度日本木材学会中部支部大会は、10月12日（木）、13日（金）に福井県で開催されました。

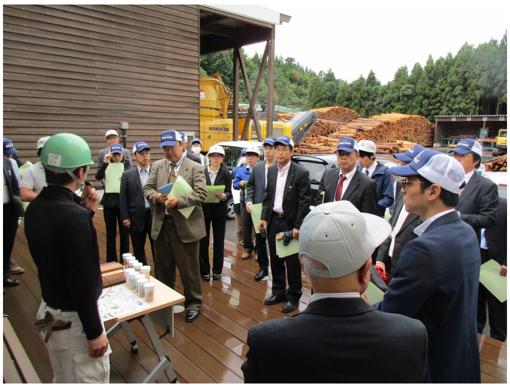
1日目は、福井県の福井市地域交流プラザ（AOSSA　6F）にて、12時10分から評議員会が開かれ、13時00分からは展示発表（21件）、14時15分からは口頭発表（10件）が行われました。

今回の福井大会では、大会参加者が77名（学生参加者12名）となりました。最初に行われた展示発表の会場では、多くの参加者が熱心に討議されており、当初 十分な広さを確保したと思えた発表会場も手狭に思えるほどの活況振りでした。次に行われました口頭発表では、発表会場を一つにまとめた結果、終了時間が若干遅くなりましたが、参加者全員が全ての発表を聞くことが出来るようになったことは良かったとのご意見も頂きました。18時からは、会場をウェルアオッサ（AOSSA　3F）に移し、懇親会を開催いたしました。懇親会の参加者は、39名（学生参加者8名）となりました。懇親会では、信州大学の武田 孝志 支部長のごあいさつの後、開催県を代表して福井県総合グリーンセンター 鈴木 昌一 所長のごあいさつに続き、日本木材学会 会長である 名古屋大学 福島 和彦 教授のごあいさつと乾杯のご発声で幕を開けました。和やかなムードの中、福井県産食材を使った各種料理や名産の地酒などを楽しんでいただきました。また、会の半ばでは、静岡大学の鈴木 滋彦 副学長と名古屋大学の 稲垣 哲也 講師から 日米木質科学国際会議2018 についてのアナウンスが行われました。続けて、地域功労賞2件と優秀発表賞3件（展示2件、口頭1件）の表彰も行われました（受賞者は下記に示します）。優秀発表賞 受賞者は、3名全てが女性という結果になり、今回の福井大会では女性研究者の活躍ぶりが目立つ結果となりました。最後に、次期開催県の静岡県を代表しまして、静岡大学の安村 基 教授より次回の静岡大会へのお誘いと中締めのごあいさつをいただき、お開きとなりました。

展示発表の様子

口頭発表の様子

2日目の見学会では、坂井森林組合のふくいWOODバイオマスセンター（福井県あわら市）を見学いたしました。参加者は36名でした。この施設では、スギ丸太から燃料用チップ、燃料用木質ペレット、WPC用木粉などを製造しており、製造した木粉はすぐ隣に位置するフクビ化学工業株式会社の



見学会の様子

プラントで木質プラスチックペレットに加工されます。当日は、それぞれの製造工程について担当者から丁寧な説明をしていただき、参加者との質疑応答も活発に行われていました。

大会中は、2日目の早朝時に若干の雨が降りましたが、発表会、見学会の期間中は何とか晴れてくれたこともあり、天候にも恵まれておりました。

至らぬ点もあったかと思いますが、参加者皆様のご協力も得まして何とか無事に大会を終了することが出来たと思っております。最後となりますが、ご参加いただいた皆様、見学会を快く引き受けていただきました、坂井森林組合、フクビ化学工業株式会社の皆様にお礼を述べさせていただいて、福井大会の実績報告を終えたいと思います。

＜ 地域功労賞 ＞

愛知県森林・林業技術センター　豊嶋 勲 氏

石川県農林総合研究センター 林業試験場　松元 浩 氏

＜ 優秀発表賞 ＞

○展示発表部門

P01　60年生ボカスギの樹幹内強度分布

（富山木研）○花島 宏奈、園田 里見、（元 富山木研）長谷川 益夫、（富山木研）柴 和宏

P13　CNFによるパーティクルボードの補強効果の検証

（静大農）○加藤 菜穂、太田 和晃、小堀 光、小島 陽一、鈴木 滋彦、（産総研）伊藤 弘和

○口頭発表部門

A10　ヒノキ科木材精油の嗅覚刺激が自律神経活動に及ぼす効果

（岐大応生）○林 友香、山内 恒生、光永 徹、（森林総研）松原 恵理